

# ポータブル溶存水素計 ENH-2000 取扱説明書・保証書

この度は溶存水素測定器ENH-2000をお買い上げ頂き、有り難うございます。ENH-2000は溶存水素を測定するために特殊に開発したセンサを採用しています。センサは溶液中のミネラルなどが付着しますと、数値がばらつく原因となります。感度が低い場合などはセンサをクリーニングされることをお勧め致します。また、センサ寿命が来た場合にはモジュールを交換出来るように設計されております。ENH-2000は非常にデリケートな測定器ですので、ご使用前にこの取扱説明書をご一読の上、ご愛用下さい。

## 【特徴】

1. 小型で簡易防水つき、持ち運びに便利です。
2. 最大/最小値を表示し、データを保持します。
3. 電池消費が少なく、予備バッテリー付きです。
4. 電池残量を表示、使用后10分で自動的に電源が切れます。
4. ppm/ppbの切替、水温表示機能があります。
5. 水素還元方式で手軽に測定が行えます。

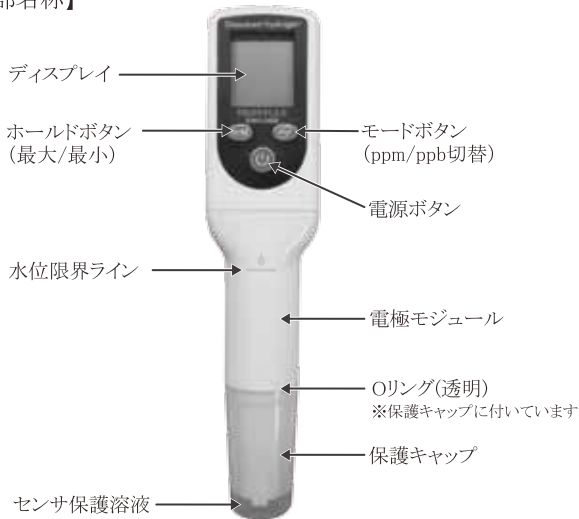
## 《水素還元方式とは》

溶液中の酸化還元電位(ORP)を検知し、溶存水素濃度として換算する測定技術です。独自開発した解析技術と特殊センサにより、これまで大変高価だった水素測定が手軽に行えます。  
注)酸化還元電位が低い水の場合、水素が発生していない水でも水素濃度が高く表示されます。水素水の測定のみにご利用下さい。

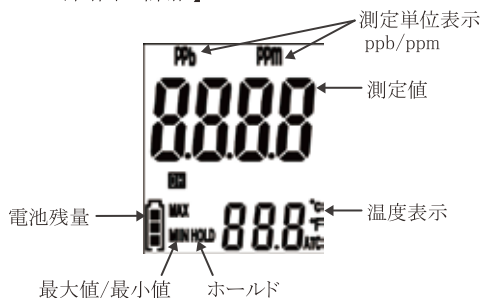
## 【仕様】

- ・測定範囲: 0~3.00ppm/0~3000ppb
- ・表示誤差: ±10%
- ・重量: 102g(電池含む)
- ・寸法: 本体 170×40×26mm 収納ケース 210×160×49mm
- ・測定単位: 0.001ppm/1ppb
- ・電源: リチウムボタン電池 4個

## 【各部名称】



## 【ディスプレイ画面の詳細】



## 保証書

当社製品を御買い上げいただき有り難うございます。

型式	ENH-2000		
シリアル番号			
保証期間	平成	年	月 日から 1年間とします。
御客様	御芳名		
	御住所 〒		
	電話 ( )		
販売店	印		

※保証書には、必ず購入日の記入および販売店様の押印をお願いいたします。それらが無い場合の修理は有償となり、交換もいたしかねます。

製造元

株式会社トラストレックス

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町2-11 第2喜巴ビル

TEL : 06-6378-1611 FAX : 06-6378-1612

<http://www.trustlex.co.jp>

## 保証規定

本書は、下記保証規定内容で無料修理させて頂くことを、お約束致します。

1. 保証期間は、お買上げの日をもって保証期間の開始日とし、1カ年と致します。  
但し、電極モジュールを除く本体のみの保証となります。
2. 保証期間内でも次のような場合には有償修理になります。
  - ご使用上の誤り、あるいは取扱上の不注意、不当な分解修理改造による故障および損傷。
  - お買上げ後の落下および輸送等による故障および損傷。
  - 火災、地震、塩害、落雷、ガス害、その他不可抗力による故障および損傷。
  - 故障および損傷原因が異常水圧等外部要因による損傷。
3. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けることがあります。
4. ネット通販で商品をご購入の場合、保証対象外となる場合がございます。
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。  
(This warranty is effective only in Japan.)

\* なお、本保証書は、本書に明記した保証期間および各条件のもとにおいて無償修理をお約束するものであり、御客様の法律上の権限を制限するものではありません。

保証書の再発行は致しませんので大切に保管下さい。

【付属品】※商品お受取り後、以下の物が揃っているかご確認ください。

- ・本取説/保証書
- ・センサ保護溶液 1本
- ・電池 (内蔵/予備)
- ・センサクリーナーペーパー
- ・予備Oリング
- ・電池取り出し用ミニドライバー

【操作手順】 ⚠️ 必ずお読みください！

本測定器は、水素水生成器や水素発生具、水素水の溶存水素測定用に開発されたものです。特殊センサを使用しているためアルカリイオン水、お湯、塩水、ジュース、お茶等の測定には絶対に使用しないで下さい。故障の原因となり、無償修理の対象外になりますのでご注意ください。

● 準備

1. (保護溶液がこぼれないよう) 保護キャップを外します。
2. 電源ボタンを押して電源を入れます。

● 測定

1. 電極をサンプル溶液に静かにつけます。  
水位限界ラインを超えないようご注意ください。
2. 約10秒後に数値が表示されます。静止状態で測定してください。  
注) 測定は必ず常温水(25℃前後)で行ってください。  
水温が高過ぎたり低過ぎたりすると、センサに不具合が生じる恐れがありますので、充分ご注意ください。  
注) ———が表示された時は測定範囲を超えています。
3. 測定後は電極部をきれいな水で洗い流し、保護キャップを取り付けてください。その際、キャップ内の保護液の量を確認し、量が少なければ必ず補充してください。【ご使用上の注意事項】をよくお読みになり、センサ部が乾かないようご注意ください。
4. 測定終了後、センサ付近に水分や溶液が残っていると、パネルにランダムな数値が表示される場合があります。この場合は、再び綺麗な水で洗い流してからキャップを付け、数値が「0」なのを確認してから電源を切ってください。  
※長押しするとエラーになるのでご注意ください。
5. 保護キャップを取り付けて保管してください。その際、センサ部が乾かないよう測定器を横に倒した状態で保管してください。詳しくは、【ご使用上の注意事項】をよくお読みください。

【機能モード】※通常の測定では特に使用することはありません。

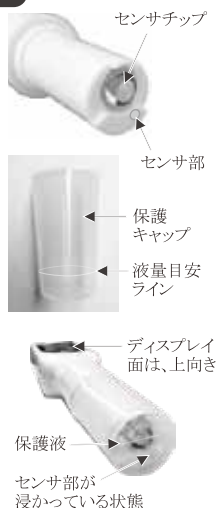
1. 電源を入れ、ホールドボタンを押すと“HOLD”が表示され、保持モードになります。読み込んだ数値は保持され、ディスプレイ上に表示されます。もう一度ホールドボタンを押すと測定モードに戻ります。
2. ホールドボタンを長押しすると約3秒後、“MAX/MIN”が表示されます。さらにホールドボタンを押すとMAXで最大値を、MINで最小値が表示されます。もう一度ホールドボタンを“MAX/MIN”の表示が消えるまで長押しすると測定モードに戻ります。

注) 最大/最小値表示モードでは電源は自動オフになりません。

【ご使用上の注意事項】 ⚠️ 必ずお読みください！

1. センサ部が乾くと測定に不具合が生じます。保護キャップ内を常に保護溶液で満たし、センサ部が乾かないようご注意ください(キャップ内側にある細い線は、キャップをしても液が溢れない量の目安です)。また、本体を横にした際もセンサ部が乾かないようご注意ください。ディスプレイ面を上向きに置くとセンサ部が下になり、液に浸かりますのでケースで保管する場合もケースが裏向きにならないようご注意ください。

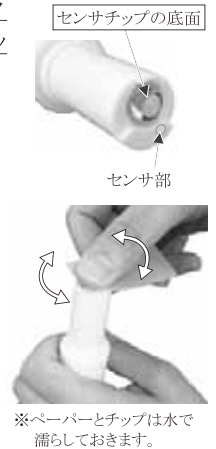
注) 保護溶液の代わりに、別の溶液・水道水などを使用すると故障の原因となりますので、絶対に避けてください。



2. センサチップ部にゴミやミネラル成分が付着すると感度が下がりますので、付属品のセンサクリーナーペーパーにてセンサチップをクリーニングしてください。センサ保護溶液での保管後もクリーニングが必要になります。

【センサチップクリーニングの手順】 ⚠️ 必ずお読みください！

1. (保護溶液がこぼれないよう) 保護キャップを外します。
2. 付属のセンサクリーナーペーパーのザラザラした面に水を数滴垂らし、センサチップも水で濡らしておきます。
3. ザラザラした面に「センサチップの底面」を軽く押し当て、ペーパー裏のツルツル面から親指を添えます、添えた指と一緒にペーパーを左右に10回ほどキュッキュとやや強めに回転させて、センサチップの底面を磨きます。ペーパーに薄い灰色の汚れが付着する程度の強さで磨いてください。
4. 水道水等の流水でセンサ表面の汚れを洗い流し、再びセンサ保護キャップを取り付けて、ご使用ください。



《 別売品価格(税別) 》※Webサイトから購入頂けます。

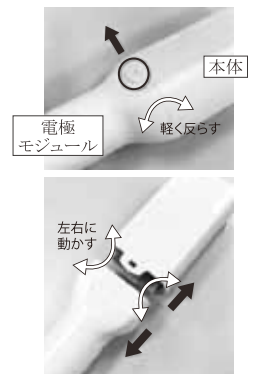
- ・交換用電極モジュール 15,000円/本
- ・センサ保護溶液 1,000円/本
- ・センサクリーナーペーパー 500円/10枚

【電極モジュール交換】※電極モジュールは保証対象外です。

電極モジュールには寿命があります。使用頻度にも因りますが、大体半年～1年で電極を交換して下さい。

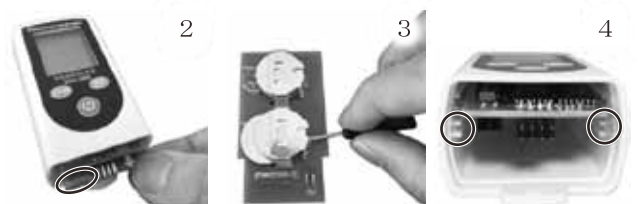
1. 本体裏面が上になるように本体と電極モジュールをそれぞれ持ち、本体裏側にあるツメが外れるように方向に軽く力を加えます。
2. ツメが外れたら、左右に動かしながら電極モジュールを離します。
3. 逆の要領で新しい電極モジュールをはめ込みます。

※ツメがカチッとハマるのを確認してください。



【電池交換】※電池残量の表示が点滅したら電池交換してください。

1. 電極モジュールを外します。
  2. Batteryの表示がある基板を引き出します。
  3. 付属のミニドライバーで電池を押し出し、新しい電池に交換してください。
  4. 基板がもとの位置(本体の溝)にはまるよう差し込んでください。
  5. 電極モジュールをはめ込みます。
- ※ツメがカチッとハマるのを確認してください。



【自動電源オフ機能の設定】※納品時は自動電源オフの状態です。

1. 電源を入れ、ホールドボタンとモードボタンを同時に長押しすると約3秒後、右下に“A+P”の表示が現れます。
2. ホールドボタンで自動電源オフの設定“on/off”を選択した後、電源ボタンを押すと右下に“rSt”の表示が出ます。
3. メーターをリセットするため再度ホールドボタンで“YES/no”を選択し(YES:リセットする/no:リセットしない)、電源ボタンを押します。